

平成25年第1回定例会(第6日目) 2013.02.26

発言順:1 早坂あつし(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1:安全神話が崩壊した原発の再稼働についての所見	0	0	0	0
2:低線量の長期間の放射性物質による被曝の影響に対し健康管理をしていく必要性和そのための検査と助成制度	1	1	1	3
3:ネーミングライツと広告活用事業 ・隙間のアイデアをもってすれば今以上に広告活用事業になる可能性 ・市役所封筒での広告掲載 ・八木山動物公園と広告活用 ・マーチングジェイ財団から支援のとりつけ	1	1	1	3
4:コミュニケーション教育 ・第三者調査委員会の設置の検討経過 ・コミュニケーション等のプログラムの開発と実施 ・コミュニケーションについての市長の考え	0	0	1	1
	2	2	3	7

【コメント】

2・3⇒調査を踏まえた優れた質問

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：本市の将来性を新しい視点から見極めることについて ・過去の為政者の先見性についての当局の意見 ・仙台経済発展プロジェクト事業によって商業都市としての仙台市をどのように築いていくのか	0	0	0	0
2：未来の発展に繋ぐ発想の転換についての将来の展望と構想	0	0	0	0
3：省エネによる都市の再構築とそれによる活力の引き出し ・荒井東地区の省エネ市街地と産業との結びつきの不足 ・東西線沿線まちづくりと周辺地域への波及効果の不足 ・地下鉄東西線の計画時と現在の状況認識の相違について	0	0	0	0
4：エコモデルタウン構築の計画の根拠及び防災対応型太陽光発電システム整備事業の計画の根拠	0	0	0	0
5：E - A c t i o nの具体的な取組	0	0	0	0
6：最近の種別収集、ごみ処理量の推移、今後の減量目標	0	0	0	0
7：企業の海外進出に対する自治体の支援について ・海外進出希望の企業の実態と希望者の情報入手支援 ・将来を見通し、企業を育てる計画 ・自治体が培ってきたシステムや技術を紹介しようとする計画	0	0	0	0
	0	0	0	0

【コメント】

1⇒過去の為政者の先見性を質問する趣旨がやや不明。「商業都市としての仙台市をどのように築いていくのか」についての質問者の見解の提示が必要ではないか。
 2⇒「発想を転換すればどうなるか」。これも質問者の見解の提示が必要ではないか。
 4⇒担当者に事前に確認して問題点を把握し質問するべき。
 5⇒これも4と同様、担当者に事前に確認して問題点を把握し質問するべき。
 6⇒これも4と同様。事前調査して質問し、一般論を述べることにどれほど意味があるか検証する必要がある。
 7⇒海外進出希望の企業の実態と企業が仙台市にどのような支援を求めているかは質問者が事前に調べて質問するべき。「自治体が培ってきたシステムや技術を紹介しようとする計画」も、仙台市にどのようなノウハウが有るか、海外進出にふさわしいレベルに達しているかを調べて質問するべき。

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 仙台市域の土地の有効利用について ・人口のアンバランス ・土地利用の不均衡についての現状と今後 ・インフラの維持と都市及び地下鉄東西線沿線に人口が集積されることによる集中化と過疎のアンバランス ・新しい視点での都市インフラの整備 ・交通インフラの整備	0	0	0	0
2: 宮城野原総合運動公園の防災公園化計画について ・課題の認識 ・市民生活の確保のために市が積極的に関与し、意見を述べるべき	0	0	0	0
3: 市民の安心・安全の確保 ・本市の安全・安心体制(万全ではない)についての認識 ・防犯協会等の高齢化と対策 ・暴力団対応条例を持たない理由、持つべき時期に来ているのではないか ・安心・安全な都市仙台を内外にアピールする必要性	0	0	1	1
4: 大都市像について ・市役所内の体制の構築に本格的に取り組むべき ・今後の進め方(庁内外の英知を集める時期にある) ・ブロック全体の支援を得ながらのまちづくり ・近隣自治体との依頼関係の構築と共同意識の醸成	0	0	1	1
5: コンベンションシティについて ・近隣自治体との協力 ・仙台市役所内のスクラムを確かなものにする必要	0	0	0	0
6: 外郭団体について ・プロパー職員の責任と権限 ・経営改善と職員の意欲・その成果と適切な評価 ・市民ニーズを知りうる立場 ・市役所・外郭団体の人事交流 ・外郭団体の活かし方の積極的検討	0	0	0	0
	0	0	2	2

【コメント】

1⇒一般論を述べて当局の認識と対応を尋ねる形の質問の典型。現場で今何が問題となっていてそれについてどうすべきかの指摘を欠いたこの種の質問の実効性を検討する必要がある。
2⇒市民生活にどのような影響が出てくるか、県に対し市は何をするべきなのか突き詰める必要がある。
6⇒外郭団体の活かし方の前に、外郭団体の持つ問題点を正確に把握する必要がある。

平成25年第1回定例会(第6日目) 2013. 02. 26

発言順: 4 嶋中貴志(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 分譲マンション防災マニュアル作成支援について ・マンション管理士等の派遣について ・応募が多数になった場合、予算を超えた場合の対応 ・アプローチの方法	1	0	1	2
2: 通学路の安全対策 ・既に対策が済んでいる箇所の有無と数 ・これまでの取組みと今後 ・県警と関わる場所の調整	0	0	0	0
3: 障害ある児童生徒の教育(制度のはざまや制度の対象とならない子ども達の支援の重要性)	2	0	1	3
4: 生コンの不足(生コンの材料である砂利や砂の不足)に対する積極的取組みの必要性	0	0	0	0
	3	0	2	5

【コメント】

2⇒「既に対策が済んでいる箇所の有無と数」は事前に調べる必要がある。「これまでの取組み」も同様。
3⇒調査結果を踏まえた優れた質問。

平成25年第1回定例会(第6日目) 2013.02.26

発言順: 5 小野寺淳一(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 全市民の町内会加入(マンション管理会社や不動産会社に加入を促すべき)	0	0	1	1
2: 労働問題 ・サービス残業の常態化が市内にあることの認識 ・社労士相談内容の把握と改善に向けた努力, 追跡調査 ・本市の業務におけるサービス残業の常態化 ・机がなく終始窓口での対応に追われている	0	0	0	0
3: 復旧工事と作業員・交通誘導員の不足	0	0	0	0
4: 歩道の整備のあり方(地質条件に適した工事が行われるべき)	0	0	0	0
5: 杜の都防災メールの登録率(コンペ形式: 広報のあり方を競うやり方)	0	0	1	1
6: 市長選と参院選の同時実施(国等への働きかけで対処策が図られるべき)	0	0	0	0
	0	0	2	2

【コメント】

2⇒サービス残業の常態化と市政とのかかわり(市に何が出来て何が出来ないか)をもっと掘り下げ, 他都市の先進事例をひき, 「仙台市でもこのようなことをすべき」と具体的改善案を伴った質問をするべき。
 3⇒「どのように受け止めているか」を訊くのは本来の質問の出発点に過ぎない。出発点を確認して終わりという質問は改善する必要がある。作業員の不足に対し, 市として何が出来るかを突き詰める必要がある。
 4⇒地質条件に適さない工事とはどういう工事なのかをもっと詳しく紹介する必要がある。

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 指定管理者制度 ・ 指定管理者制度の趣旨・目的 ・ 問題点の把握・認識 ・ 人材育成と指定管理期間	2	0	3	5
2: 東日本大震災からの復旧・復興について ・ 原形復旧主義の意味 ・ 現在の基準に合わせた修復の必要性	1	0	2	3
3: 姉妹友好都市の積極的市民広報 ・ 支援してくれた姉妹都市 ・ 友好都市の支援内容と当局の認識 ・ 竹田市に対する支援内容と活動の経験 ・ 多くの市民に知っていただく取組の導入	1	0	2	3
4: 中心市街地における土地の有効活用 ・ 市立病院移転後の清水小路の跡地 ・ 東北大学の青葉山新キャンパスへの移転	0	0	1	1
	4	0	8	12

【コメント】

1 ⇒ 指定管理者制度の問題点をとらえた極めて優れた質問